



令和7年12月22日発行

学校だより

第16号

江戸川区立松江第三中学校

＜教育目標＞

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

2学期もありがとうございました!!

校長 小澤 託

2025年もいよいよ残りわずか…という前に、多くの皆さんにとってクリスマスが大きなイベントになるのでしょうか。

クリスマスの時期くらいしか、おもちゃ屋さんなどには行くことはなかったし、この頃は行くこともないのですが…。小さな頃、デパートや百貨店のおもちゃ売り場に行くと、欲しいものを買ってほしくて、その場で座り込んで泣き叫ぶ小さなお子さんがいた気がします。(もしかしたら今でもいるのかもしれません)保護者の皆さんの中には、私がそうだった、なんて方もいらっしゃるかもしれません。この頃はどうでしょう?

大分見かけなくなりましたよね? というか、見ないですよね。

当時は、泣き叫ぶ子を母親がしばらくなだめ、それでも泣き止まない時は、“もう知らない”とばかりにその場を立ち去り、その姿を見た店員さんや近くで見ていた紳士やご婦人がやさしく声をかけ、教え諭す。その泣き叫んでいた子もしばらくすると泣き止んで、母親の姿を探し始めるというのがパターンでした。

しばらくすると、まるで水戸黄門様のように、ここしかないという絶妙な場面で立ち去った母親が登場し、迷惑をかけた方々に頭を下げながら泣き止んだ子を連れていく、という”The おもちゃ屋さんの一場面”というのがあった気がします。

さて、今さらながら、一昔前は、こういう所でも、小さな子(親も)は“がまんすること”を自然と学んだり、様々な人との“関わりを通して教えられること”を体験したりしたものです。今以上に、社会全体で子を育てる、見守るという雰囲気があつたし、互いを信頼するというのがあったのかもしれません。

過去と今を比較し、どっちが良かったのかを議論するつもりはありませんが、“がまんすること”や“関わりを通して教えられること”は、今も昔も大切なことだと感じます。今、中学生である生徒たちが成長し、社会で働き始めた時に最初に出会うのは、会社の上司や同期と積極的に関わりをもち、分からぬことを聞いて教えてもらうことから始まるはずです。当然すぐに結果が出るわけではなく、がまんしながら働き続け、そして、社会や会社に貢献できるようになっていくわけです。

早いもので、2学期も今週で終わりになります。

3学期も引き続き、保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、教育活動を進めていくことになります。日頃の授業をとおして、学力を伸ばしていくと同時に、社会に出てから通用する力を伸ばしていきたいと私たちは考えております。それが中学校の役目もあると思っております。

ぜひ、ご理解いただき、引き続きご協力をお願いいたします。

それでは、皆様良いお年をお迎えください。

～2026年はどんな年になるのでしょうか～

ある新聞の2025年読者が選んだ日本10大ニュースの上位5つが以下のようになっています。

- 1位 大阪・関西万博が開幕**
- 2位 クマ襲撃相次ぐ**
- 3位 初の女性首相誕生**
- 4位 コメ価格高騰、政府備蓄米の放出**
- 5位 大谷、山本、佐々木が活躍、ドジャース**

ちなみに、8位にノーベル賞に日本人が2人選出されたこと、10位に夏の平均気温が最高になったこと、13位に映画の「国宝」の興行収入が実写邦画で100億円を突破したこと、20位にニンテンドースイッチ2の発売などがあがっています。

興味がある人は、他にどんな出来事がランクインしているか、さらには、世界10大ニュースになるとどんな出来事が入っているか、調べてみると良いと思います。

話はちょっと横道にそれますが、某生命保険会社の今年の創作四字熟語だと…

孤軍奮闘→→→古米奮闘(備蓄米、古米) **空前絶後→→→空前熱暑(夏の酷暑)**
" →→→ド軍奮闘(大リーグ、ドジャース) 百点満点→→→ミック点満点(万博の盛況)
五穀豊穢→→→悧国宝盛(国宝大ヒット)
応募多数→→→応募多2(ニンテンドースイッチ2抽選販売に応募殺到)

などの四字熟語がランクインしています。

こちらも予想通り、10大ニュースと同じような内容が、創作されていたようです。

みなさんにとて今年の10大ニュースは何だったでしょうか？

同じ学校に通い、同じクラスで過ごしていても、人によって大きな出来事だと思う内容は違います。あなたにとって2025年がどんな年だったか、振り返ってみるのもいいかもしれません。そういう考える時間は案外大事だと私は思います…。そして、来る2026年をどんな年にしたいか、想像するのもあります！！

良い時間を過ごしましょう

年末年始のお休みは、夏の長期休業とは違って短いお休みです。(北国の東北や北海道の学校は、雪の関係もあるのですが、夏休みは短く、年末年始を含めた冬休みが長めに設定されています。)しかし、短くても非常に重要な休みであることは間違ひありません！

3年生にとっては、まさに高校受験に向けて最後のラストスパートをかける時期です。当日の試験を想定した対策や最後の弱点補強に充てる大切な休みになります。ぜひ、限られた時間を有効に活用してください！！

1・2年生の皆さんにとっても、2学期の復習をしたり、3学期の準備をしたり、学習面で全体を見直すチャンスです。そして、家庭での時間を過ごす貴重な時間でもあります。普通に食べることができ、学校で勉強し、布団で寝ができる生活に感謝しながら、今一度、普段の生活を見直してみましょう。